

【市長賞】わたしと給食

明和小学校 中根 千歩

わたしは保育園のころから九年間給食を食べています。毎日とってもおいしくてわたしは給食の時間が大好きです。給食のエピソードでわたしがすぐに思いだすのは保育園の給食参観日の事です。その日のメニューは、「きゅうりのすの物の物。」

「減らしてください。」

と言う子がたくさんいるのにわたしは、

「おかわりください！」

と、きゅうりのすの物の物を三回おかわりしました。近くでいっしょに食べていた友達のお母さんたちが、「千歩ちゃん、すの物平気なの？すごいね。うちの子は食べないんだよ。」

と、きゅうりのすの物のおかげでたくさんほめられてうれしかった事を思い出します。今でもわたしはきゅうりのすの物が大好きです。わたしは背が小さくて自分よりも学年が下の子にも背がぬかされています。それがとてもイヤで悲しいです。ある時お母さんに、

「給食をたくさん食べな。」

と、言われた事がありました。わたしは、

「好ききらいないし、ちゃんと残さず食べてるよ。」と、言うのと、

「ならだいじょうぶ。給食はちゃんと栄養が考えられてるから。モリモリ食べればグングンのびる！」と、言われたのをわたしはちゃんと守り、

「給食おねがい！栄養タップリ。」

の気持ちで残さず食べていた6年間。やっと、

「あれ？千歩ちゃん背がのびた？お姉さんぽくなつたね。」

と、言われるようになり、まだ背は小さい方だけど給食ありがとう。の気持ちになりました。

「キャベツのゆかりあえがおいしかったよ。」

と、お母さんに言うと言ってくれました。でも給食とは味がちがつていてお母さんは再挑戦してくれただけ、やつぱり味がちがつていてわたしもなかなか説明がうまくできなかったけどあんなに美味しいゆかりあえ、給食ってすごいなと思いました。

今の給食の時間はコロナがはやりだしてから一人で食べないといけなくなり、前までグループで食べていた時より、ものすごくさみしいけど、大人気メニューのビビンバとラーメンの日は朝からみんなでワクワクしたり、七夕みたいなイベントの日はかまぼこが星形だったり、給食はわたしたちを楽しませてくれます。

「いただきます。」

と、みんなの手を合わせて食べる給食がわたしは大好きです。